

# 平成 30 年度 事 業 報 告

|   |                |       |       |   |        |
|---|----------------|-------|-------|---|--------|
| 1 | 相談支援事業所はしわたし   | ..... | 1 - 1 | ～ | 1 - 2  |
| 2 | 地域活動支援センタージャンプ | ..... | 2 - 1 | ～ | 2 - 2  |
| 3 | すまいるB          | ..... | 3 - 1 | ～ | 3 - 10 |
| 4 | ぬくもり弁当         | ..... | 4 - 1 | ～ | 4 - 2  |
| 5 | てつなぎ工房         | ..... | 5 - 1 | ～ | 5 - 10 |
| 6 | グループホーム        | ..... | 6 - 1 | ～ | 6 - 2  |

社会福祉法人てつなぎ

## 相談支援事業所「はしわたし」平成30年度事業報告

### はじめに

計画相談については、平成31年3月現在54名の利用者が登録をしている。

また、児童の利用者は、26名計画相談しており、合計80名の計画相談対象者となる。

近年の傾向としては発達障害があり二次障害としてのうつ病など精神障害の増加がある。

川湯の森病院からの紹介で一般相談の対象となる方も多く、障害福祉サービスの受給者証作成、精神保健福祉手帳の作成、自立支援医療費受給者証の作成、障害年金の申請サポートなどを行っている。精神障害、大人のひきこもり、児童に於いては発達障害の増加が著しい。

一般相談から地域活動支援センター、その後福祉的就労へと移行できる様サポートしている。

現在第一相談員として吹田相談支援専門員、第2相談支援専門員として吹田美佳の相談支援専門員を配置し業務を行っている。

### 主な活動

#### ①一般相談

＊弟子屈町からの委託事業で保健師や事業所等関係者と連携を図り利用者の相談支援に努めた。

＊利用者・家族等からの相談に応じた。

#### ②計画相談

＊サービス利用計画の作成・モニタリングを実施した。

＊サービス担当者会議を開いて関係者の意見を聞いたり調整を行った。

＊関係機関等への連絡調整を図った。

#### ③自立支援協議会の事務

＊保健師と相談支援事業所を構成メンバーとする相談支援部会で活動した。

#### ④地域資源の改善・開発

＊介護サービスとの連携を図った。

＊福祉サービスにつながるまでの間、地活を利用するなど社会資源を活用した。

#### 平成30年度特定計画相談支援モニタリング履歴

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 計画作成 | 11 | 3  | 35 | 0  | 1  | 3  | 0   | 3   | 1   | 3  | 2  | 22 | 84   |
| 継続   | 17 | 21 | 4  | 22 | 20 | 31 | 21  | 20  | 34  | 17 | 21 | 22 | 250  |
| 計    | 28 | 24 | 39 | 22 | 21 | 34 | 21  | 23  | 35  | 20 | 23 | 44 | 334  |

所感として)

平成30年度は町内の困難事例である方が、交通事故を発端としてようやくグループホーム入居に繋がり、就労継続支援B型事業所、生活保護申請、自己破産申請等、今まで家族に迷惑をかけ、借金の全貌も分からなかったものの整理に手を付ける事ができた。

ご本人は障害の受容が出来ず、精神面から不調になる事が続いているが、少しずつ

自分の苦手な面、課題を理解し新しい生活を送られるよう支援を続けている。

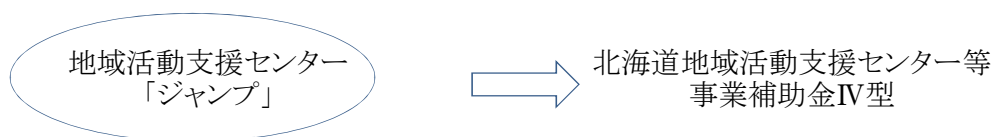
また、町内の多問題家族で、家庭内暴力がある息子を別地域の住み込みの仕事に繋げる事も出来た。

要保護児童対策協議会にも参加し、町内の虐待事案に取り組んでいる。

川湯の森病院と連携し、虐待事案の連絡等、児童を保護するために行政はじめ関係各機関と連絡調整している。

ひきこもりの方が、もう一度地域に出て行く事は勇気がいる難しい事であるが、地域活動支援センターや就労継続支援B型事業所、短期入所等てつなぎの社会資源と連携し、少しずつ自分の人生を取り戻すことが出来る様支援を行っている。

○地域活動支援センター事業報告



弟子屈町及び保健師・社会福祉協議会・川湯の森病院・民生委員・近隣住民・家族等より、一般相談を経て地域活動支援センター（以下地活）に繋げて頂き、面談を行います。

地活の取り組み・在り方として、利用者様の一番好きな事・やりたい事をお聞きしたり、現存の作業の様子からいくつかの作業の提案をし、利用者様と一緒に考え内容を決めていきます。その中で、ご本人の『一番の得意』を見極め、目で見える結果を出していき、『好きな事』を『自信』に変えて頂けるようにお手伝い致します。

また、その基本に更に応用を加え様々な作品を商品化し道の駅等で販売。自分の作ったものに対して、お客様がお金を払って頂けるという喜びを感じ、『やりがいい』を感じて下さるように応援しています。

自信を持って取り組まれていると実感された時に、ご本人の意向をお聞きしてB型事業所への見学を経て、次のステップとして、ご自分に合った事業所での就労に結び付けていく事もあります。

不登校児童・障がいによる引きこもり・高齢者などに対し、  
「どうせできないだろうけど、せめて通所だけでも」と決めつけるのではなく、  
**好きな事は何か、出来ることは何か、自信に繋げるためにはどう取り組むか**を考え、実践しています。

30年度も創作活動に力を入れ、技術を向上させ道の駅や町内外での販売もすることが出来ました。活動を通じて意欲が高まり、自分に自信が持てることで、生活リズムが安定するといった効果を感じられます。高齢者も期待に応えようと集中して作業している様子が伺え、仕事に対する張り合いさえ感じられます。何よりも社会参加しているという実感を持って作業をしています。

不登校児は自分の優れた部分を認められたという実感から積極的な行動がとれるようになってきています。チャレンジしてみたいことに出来る限り応え、一緒に取り組んでいます。それにより、通信の高校に通い、アルバイトをし、資格を取り、未来の目標まで見つけることができたという大きな成果を生んでいます。

どなたに対しても地活に通所する事で、少しでも外に目を向け、社会参加に結び付くことを願って、そのお手伝いをさせていただきます。

○ジャンプ登録者(平成31年3月末)

|      |    |
|------|----|
| 精神   | 2名 |
| 知的   | 2名 |
| 障害児  | 1名 |
| 不登校児 | 1名 |
| その他  | 3名 |
| 計    | 9名 |

＊作業内容→ 野菜栽培・除草作業・花壇整備

＊創作活動→ 羊毛や毛糸、フェルトのマスコット・ストラップ・刺繍・着付け・切り絵・写真(カメラ)  
ワイヤークラフトと羊毛マスコットのコラボ・フェイクスイーツ・スクイーズ  
紙粘土の型抜きによるマグネット・ガーデンピック・植木鉢・四季アート・コルクボード  
ガラススタイルコースター・フォトスタンド・ポストカード・クロスワードなど

○平成30年度主な活動内容

| 月   | 活 動 内 容                  | ドライブ・観光・レク | 備考    |
|-----|--------------------------|------------|-------|
| 4月  | 畑起こし・創作活動 買い物支援          |            | 道の駅納品 |
| 5月  | 畑の苗の管理及び植込み・創作活動         | 東藻琴芝桜見学    | 〃     |
| 6月  | 花壇花植え込み・創作活動 買い物支援       |            | 〃     |
| 7月  | 雑草除去等畑作業・創作活動・買い物支援      | 道の駅作品展示見学  | 〃     |
| 8月  | 本部横除草作業・創作活動・クレパスフェスタ参加  |            | 〃     |
| 9月  | 畑野菜収穫・ふれあい祭り・町民文化祭参加作品制作 | 道の駅作品展示見学  | 〃     |
| 10月 | 球根植え・創作活動・町民文化祭参加作品      | 町民文化祭作品見学  | 〃     |
| 11月 | 創作活動 買い物支援               | 紅葉見学       | 〃     |
| 12月 | 創作活動 買い物支援               |            | 〃     |
| 1月  | 創作活動・福祉のつどい参加作品制作        |            | 〃     |
| 2月  | 創作活動・買い物支援・福祉のつどい参加作品    |            | 〃     |
| 3月  | 創作活動・買い物支援・養護学校児童通所      |            | 〃     |

## 平成 30 年度 就労継続支援事業所 B 型 事業報告

すまいる B

### 1. 基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の方が地域社会から隔離されることのない「完全参加と平等」を目標に掲げ、障がい者ひとりひとりの人生の質（クオリティ・オブ・ライフ）の向上と自己実現を目指し、地域の中で自分らしく幸福感や生きがいをもって自立した生活が送れるよう支援していく。

### 2. 事業運営方針

就労継続支援 B 型事業所は、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

事業の実施に当たっては、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、その他の保健医療サービス機関、利用者を取り巻く社会資源との連携を図り、総合的な福祉サービスの提供に努める。

### 3. 支援方針

#### （1）居場所支援

生活の場以外に地域の中で心のよりどころ・生きがいを持てるような居場所（サービス事業所）としての役割を目指した支援。

#### （2）生きがいづくり

就労や、その他の活動を通して生きがいを持って自己実現できるような支援を行う。

#### （3）自己決定・自己選択・自己責任

安易な保護・管理をせず、利用者の方が自分自身の人生の責任主体となり、自己決定・自己選択を行い、自分の人生を形成し、自立した生活が送れるよう支援する。

### 4. 事業所名および所在地

（1）事業所名：就労継続支援事業所（B 型）すまいる B

（2）所在地：〒088-3202 北海道川上郡弟子屈町鈴蘭 6 丁目 1 番 5 号

（3）電話：015-486-7280（f a x 同左）

## 5. 施設の規模・構造

| 区分   | 建物構造等                 |
|------|-----------------------|
| 構造   | 木造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建       |
| 階数   | 2 階                   |
| 床面積  | 134.47 m <sup>2</sup> |
| 延べ面積 | 205.24 m <sup>2</sup> |

## 5. 従業者の人数

### (1) 管理者 1 名 (常勤兼務)

管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行うとともに、事業所の従業者に対し、法令等を参遵守させるために必要な指揮命令を行う。

### (2) サービス管理責任者 1 名 (常勤専従)

サービス管理責任者は、就労継続支援 B 型計画の作成のほか、利用者に対する継続的なサービスの管理や評価、従業者に対する技術指導等サービスの内容の管理等、その他利用者に関することを行うものとする。

### (3) 生活支援員 2 名 (常勤兼務)

生活支援員は、日常生活上の相談、健康管理の援助、その他利用者に関することを行う。

### (4) 職業指導員 1 名 (常勤)

職業指導員は、生産活動の実施、適切な就労継続支援の提供、生産活動その他日常生活上の相談にあたる。

## 6. 運営の実績

### (1) 利用定員 20 名

### (2) 利用者数 18 名

### (3) 利用実績

| 区分     | 平成30年 |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 平成31年 |     |      | (単位:人) |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|--------|
|        | 4月    | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月    | 3月  | 年度計  |        |
| 定員(人)  | 20    | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20    | 20  | 20   |        |
| 開所日数   | 21    | 21  | 21  | 20  | 20  | 20  | 21  | 22  | 20  | 19  | 20    | 21  | 248  |        |
| 利用者実人数 | 17    | 17  | 18  | 17  | 17  | 18  | 18  | 18  | 18  | 17  | 17    | 17  | 209  |        |
| 延べ人数   | 250   | 250 | 282 | 260 | 241 | 261 | 269 | 269 | 257 | 228 | 261   | 254 | 2917 |        |

## 7. 障害の状況

### ①利用者の障害程度

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 身体障害 | 1 級 2 名 4 級 2 名         |
| 知的障害 | A 4 名、B 3 名             |
| 精神障害 | 1 級 2 名、2 級 3 名、3 級 1 名 |
| その他  | 1 名                     |

②うち重複障害  
9名

③利用者の男女別  
男性 10名（平均年齢 54 歳） 女性 8 名（平均年齢 43 歳）

8. 工賃 時給 100 円 月末現金支給

9. 生産活動

生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の障害特性、利用者の個性、体調、能力、希望に配慮し、強制したり、精神的、身体的に過重な負担とならないよう配慮を行い、楽しく、精神的にも身体的にも安定して作業に取り組むことができる様、安全の見守り、意欲の引き出し、助言、相談等に支援を行う。

| 作業種名      | 製品・作業内容・作業支援目標                                                                                                                                                               | 販売戦略                                                                                                 |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ペットのおやつ作り | ①製品：犬・猫のおやつ（にぼし入りクラッカー等）<br>②作業内容：午前を中心に生地づくり、成形、加工、袋詰めを行う。<br>③作業支援目標：各利用者の方の作業能力・個性・体力・体調に配慮し、負担がかかりすぎないよう、楽しい雰囲気生きがいを持って作業できるよう支援していく。                                    | ・顧客ターゲット：犬・ねこを飼っている人。<br>・販路：道の駅、事業所販売、販売会<br>・新しい商品を開発し季節感を打ち出す。かわいらしい形にするなど購買意欲を引き出すような製品づくりをしていく。 |
| 手芸製品作り    | ①製品：アクリルたわし、小物、バッグ、アクセサリー他<br>②作業内容：午前を中心にアクリルたわし、小物、バッグ、アクセサリー他の製品づくりを行う。<br>③作業支援目標：各利用者の方の作業能力・個性・体力・体調に配慮し、負担がかかりすぎないよう、楽しい雰囲気生きがいを持って作業できるよう支援していく。<br>また、個性的な魅力ある製品づくり | ・顧客ターゲット：観光客、主婦層、子ども<br>・販路：道の駅、事業所販売、販売会<br>・お客様の意見などを取り入れたり、個性的な製品づくりを行い、購買意欲を引き出すような製品づくりをしていく。   |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                             |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | <p>ができるよう、自由な発想を大事にして製品開発を利用者の方と共に考えながら製品づくりを支援していく。</p>                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                             |
| 牛乳パック再利用製品作り | <p>①製品：牛乳パックを再利用し、しおり、パッケージ、他製品</p> <p>②作業内容：午前を中心に牛乳パック切り、ラベルはがし、ちぎり、紙漉き、乾燥、成形等の工程を経て、パッケージ、しおり、他製品づくりを行う。</p> <p>③作業支援目標：各利用者の方の作業能力・個性・体力・体調に配慮し、負担がかかりすぎないように、楽しい雰囲気生きがいを持って作業できるよう支援していく。</p> <p>また、個性的な魅力ある製品づくりができるよう、自由な発想を大事にして製品開発を利用者の方と共に考えながら製品づくりを支援していく。</p> | <p>・顧客ターゲット：観光客、地域住民</p> <p>・販路：道の駅、事業所販売、販売会</p> <p>・お客様のニーズや、自由な発想を取り入れた新製品の開発に努める。また、捨てられるものを再利用して製品づくりを行っていることで環境保護の意識を販売を通して広めていく。</p> |
| 仕入販売         | <p>①製品：弟子屈ラーメンカップ麺、弟子屈生ラーメン、唐松石鹸他</p> <p>②作業内容：午前を中心に値段付、納品、道の駅の在庫確認を行う。</p> <p>③作業支援内容：各利用者の方の作業能力・個性・体力・体調に配慮し、負担がかかりすぎないように、楽しい雰囲気生きがいを持って作業できるよう支援していく。</p>                                                                                                             | <p>・顧客ターゲット：観光客、地域住民</p> <p>・販路：道の駅、事業所販売、販売会、その他</p> <p>・販売元からポップを提供していただき、個性的な看板や小物を作り、人の目を引き、購買意欲を引き立てるような販売活動を行う。</p>                   |

|           |                                                                                                                                                                                                       |                                                                                            |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 木工、雑貨製品作り | <p>①製品：木工・雑貨製品</p> <p>②作業内容：木工・雑貨製品の製造、受注販売。</p> <p>③支援内容：利用者の方が難しいところは職員が補助し、個々の能力・体力に応じ、負担に感じないように配慮し、楽しい雰囲気で作業に取り組めるよう支援していく。</p>                                                                  | <p>・販売方法：事業所での販売。受注販売。</p> <p>・顧客ターゲット：観光客、地域住民。</p> <p>・他にはない個性的な製品作りを行い、差別化を図る。</p>      |
| 墓掃除       | <p>①墓地、墓の清掃等新規事業への取り組み。</p> <p>②作業内容：墓地、お墓の清掃。その他。</p> <p>③支援内容：あいさつ、接客態度、マナー、身だしなみ等や作業内容について適切に行えるよう、知識、技術等の訓練を行う。個々の能力を生かしながら、過重な負担とならないよう配慮し、意欲をもって仕事に取り組めるよう支援していく。</p>                           | <p>・清掃・営業技術などの研修。</p> <p>・営業・宣伝活動<br/>ホームページに載せる。</p>                                      |
| 掃除        | <p>①グループホームてつなぎ荘の掃除。</p> <p>②作業内容：共有スペース（浴室、脱衣所、トイレ、ロビー、廊下、食堂など）の清掃。</p> <p>③支援内容：あいさつ、接客態度、マナー、身だしなみ等や作業内容について適切に行えるよう、知識、技術等の訓練を行う。個々の能力を生かしながら、過重な負担とならないよう配慮し、意欲をもって仕事に取り組めるよう支援していく。</p>         | <p>・依頼内容に応じて清掃業務を行う。</p>                                                                   |
| 犬の散歩      | <p>①犬の散歩：1時間 2,000 円。グループホームの犬の散歩。</p> <p>②作業内容：犬の散歩。その他希望による。</p> <p>③支援内容：職員が利用者の安全に配慮し、あいさつ、接客態度、マナー、身だしなみ等や作業内容について適切に行えるよう、知識、技術等の訓練を行う。個々の能力を生かしながら、過重な負担とならないよう配慮し、意欲をもって仕事に取り組めるよう支援していく。</p> | <p>・チラシ配り、ホームページ、弟子屈広報にて宣伝活動を行う。</p> <p>・飼い主の方の意向を伺い、飼い主の方が満足でき、犬が楽しく散歩できるようサービス提供を行う。</p> |

## 10. 健康の維持・増進活動

生産活動・その他の活動におけるけがの予防や、体力づくり、成人病予防等のため、朝の朝礼後や午後の時間に、ラジオ体操・健康体操・散歩などの活動を行う。

## 11. レクリエーション活動

就労意欲の向上、体力づくり、他者との親睦の機会を通じ、QOLの向上を図る取り組みとして、様々なレクリエーション活動を通じて心身のリフレッシュ、生きがいを見つけるなど生活の満足感を高めることを目的とした活動を行っている。

＜活動内容＞

- ・トランプ・オセロ・将棋・かるた・すごろく・ジェンガ・カラオケ等（週1回）  
コミュニケーションが苦手な方でも他者との交流を図ることができ、気晴らしや楽しみを見つける。
- ・ドライブ（冬期を除く2～3か月に1回程度）  
普段いる空間から離れ、外出することで景色をみたり、歩いたりしながら季節感を感じたり、地域の方や他者との交流の機会を持つなど心身をリフレッシュする。
- ・休憩  
疲労回復や、体調不良時に一時的に休養を取る事で、心身の健康の維持・回復を図り、元気に作業やその他の活動に参加できるよう配慮している。
- ・図書館やその他展示会の見学などの文化活動（図書館月1回、他1回）  
教養娯楽活動によって楽しみや視野を広げる。

## 12. 各関係機関との連携活動

弟子屈町保健福祉課健康推進係、ボランティア団体、社会福祉協議会、釧路総合振興局保健福祉部との連携活動として、歯科検診、ふまネット体操、がんばる一ん体操、その他健康生活にかかわる講習会など行う。

健康推進行事

| 実施日  | 9月21日                         | 11月16日            | 2月15日             | 3月15日   |
|------|-------------------------------|-------------------|-------------------|---------|
| 場所   | すまいる B                        | すまいる B            | すまいる B            | すまいる B  |
| 内容   | がんばる一ん体操                      | 生活習慣予防講演会         | メンタルヘルス講演会        | 脳トレ摩周   |
| 協力機関 | 社会福祉協議会 バルーンが摩周 ボランティア菊地様、伊藤様 | 弟子屈町役場保健福祉係 長町保健師 | 弟子屈町役場保健福祉係 若松保健師 | 社会福祉協議会 |

|      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| 参加人数 | 13 名 | 14 名 | 16 名 | 15 名 |
|------|------|------|------|------|

### 1 3. 季節感を取り入れた行事活動

花見、節分豆まき、焼肉、忘年会、新年会など

### 1 4. 利用者ミーティング

毎週金曜日に利用者ミーティングを行い、料理やおやつのメニュー、ドライブの行先やスポーツの日の日程をみんなで決めたり、すごろくを使ってコミュニケーションが苦手な方でもゲーム感覚で自分のことを話できる機会を作っている。

利用者ミーティングは、お互いの親睦を図り、同じ悩みなどを共有・共感し合い、励まし合ったり、自分の良さや課題への気づきを促し、自分の課題の解決する力を引き出すことなどを目的として行っている。

### 1 5. 心身の状況等の把握

来所時に、血圧測定や、聞き取り、表情の観察、服薬支援、受診状況など健康状態の把握のほか、利用者の生活環境の把握を行う。

### 1 6. 個別支援計画等の作成

個別支援計画のモニタリング・評価・アセスメントを半年毎（4月・10月ごろ）、または状況の変化に応じて、利用者との面接、個別支援計画検討会議、関係機関との連携を行い、個別支援計画の作成・個別支援内容の説明・文書の交付を行う。

### 1 7. 非常災害対策等の実施

#### ①消防避難訓練の実施（2回）

10月19日（16名参加）、12月18日（15名参加）

#### ②うち自然災害を想定した避難訓練の実施（2回）

10月19日（16名参加）、12月18日（15名参加）

#### ③消防立入検査・結果報告

12月7日 消防署による消防用設備点検実施。指摘事項なし。

#### ④法定設備点検

30年11月1日 消防用設備点検実施。異常なし。

#### ⑤防災計画の策定

地震・火災・風水害等の自然災害に対する防災対策及び災害時において必要な基本事項を定めた防災計画の策定、及び防災研修を実施。

#### 18. サービスの質の向上のための取り組み

職員のサービスの質の向上のため、外部研修、法人主催研修、社内研修を行う。

#### 19. 職員会議

##### ・業務ミーティング

業務について必要に応じて業務ミーティングを実施。業務の内容全般の改善点や、支援方法のあり方、各職員の勤務態度についての業務指導等の実施。

##### ・作業ミーティング

作業内容、生産製品の改良、開拓について話し合い、事業収入の向上を目指す。

##### ・職員メンタルヘルスマーケティング

職員の精神面でのストレスや悩み、趣味など各職員全員出し合い、そのことについての思い、考えなどを共有・共感することにより、各職員同士の理解を深めること、や課題に対しての自己解決能力の向上を目指している。

#### 20. 年間行事

|     |                     |
|-----|---------------------|
| H30 |                     |
| 5月  | 東藻琴芝桜見学             |
| 7月  | 健康推進行事、消防署見学        |
| 8月  | 焼肉・中標津ドライブ          |
| 9月  | 健康診断、健康推進行事         |
| 10月 | 避難訓練・お食事会           |
| 11月 | 健康推進行事（生活習慣予防）      |
| 12月 | 避難訓練、忘年会・お楽しみ会      |
| H31 |                     |
| 1月  | 新年会                 |
| 2月  | 豆まき・健康推進行事（メンタルヘルス） |
| 3月  | お疲れ様会、健康推進行事（脳トレ摩周） |

#### 21. 日課

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 10：00～10：30 | 来所、健康状態の確認、朝礼               |
| 10：30～10：35 | ラジオ体操                       |
| 10：35～11：00 | 作業・各自の体調に合わせて休憩・水分補給。火曜日は料理 |

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 11：00～11：10 | 休憩・水分補給                     |
| 11：10～11：45 | 作業・各自の体調に合わせて休憩・水分補給。火曜日は料理 |
| 11：45～12：00 | 片づけ・掃除・昼食買い出し               |
| 12：00～13：00 | 昼食・服薬・休憩                    |
| 13：00～15：00 | 健康体操またはドライブ・レクリエーション        |
| 15：00～15：10 | 掃除・休憩                       |
| 15：15～16：00 | 送迎・帰宅                       |

## 22. 現状と課題

当事業所では、社会資源が不足しているという地域性もあり、生活介護事業所の利用の対象となる方も利用されている。重複障害、重度の障害を持っている利用者の方も多く、食事・排泄・移動の介助、暴力・暴言等行動障害のある方の個別対応、精神的に不安定になりやすい利用者の方の相談等の個別対応などしながら作業支援を並行している現状である。また、作業については、障害特性、障害の程度が重い方が多いことから作業内容に限りがある。手の巧緻性の低さ、集中力が続かない、疲れやすい、被害妄想が激しく、常時精神状態が不安定で作業が手につかない、毎日の通所が困難など生産性が非常に低い。また、収入の大きい便利屋、外作業の掃除や畑作業についても、従事できる利用者は主に1～2人程度である。作業支援だけではなく、介助や心身の安全への配慮などの個別対応に多くの時間と労力を取られるため、職員にかかる負担が大きい。

障害特性や障害の程度に配慮し、30分おきに休憩時間をもうけたり、身体的、精神的に負担がかからないよう、楽しく作業ができる様配慮している。就労に向けた、体力・意欲の向上を図るための取り組み、精神面の安定化を図るため個別の相談対応、病気・障害の理解及び健康についての知識を身につけるための学習会など行い、就労及び日常生活、社会生活に必要な知識、能力の向上のための訓練・助言・相談を行っている。

精神障害・知的障害の特性として、個人差はあるが、単純な軽作業でも非常に疲れやすく、時間に追われたりノルマがあると精神的にプレッシャーがかかり、精神状態が悪化する場合がある。発達障害の方も、職員が意欲を持って取り組めるよう促し、働きかけ、配慮した中でも集中力が5～10分程度だったり、ほとんど作業に集中できないことも多い。生産性を高めるため、作業時間を増やし、利益の高い作業内容の事業展開を行い、事業所運営の安定化及び利用者工賃の維持向上を優先に目指していきたいのは当然であるが、利用者の障害特性や程度の現状を踏まえると、作業能力、生産性に限界がある中で生産性を重視した支援を行うことは、利用者だけではなく、職員にも精神的、身体的に過重な負担となり、事故や怪我のリスクが高くなり、精神状態の悪化や、体調不良、虐待のリスクも高くなる等、利用者へのサービスの支援の質の低下につながる。またそうなると利用者の通所日数も減少してくるため、給付金収入が減収となり、運営がますます厳しくなっていく悪循環に陥ることが危惧される。

何より第一に守るべきは利用者の生命と安全を最優先にすることであり、一般就労や就労継続支援 A 型事業所利用したが障害特性のために傷ついたり、うまくいかなかったり、社会生活や日常生活を送る上で様々な困難さや不安を抱えている利用者の方が、安心して、楽しく、生きがいをもって働き、過ごせる居場所になるような環境づくりが大切である。それによって通所日数も増えれば給付金収入も増えて経営も安定していく。

事業収入を増やし、工賃向上を図るためには、ソフト面、つまり、マンパワーの充実がなくてはならないこと、そして、ハード面として作業に必要な設備全般の充実（広く、使いやすい建物や、生産機械の導入、車等）が必要である。これらを充実させるためには、障害特性や状況に応じてどれくらいの人員配置が必要であるかを基準にした職員加配ができる加算の算定や、そもそも低すぎる報酬単価の底上げといった制度の見直しが必要である。昨年度の報酬改定では利用者の工賃の平均額によって給付金が算定されることになった。これは障害者の特性や地域性といった実情を考慮していない、利用者を置き去りにした施策である。

また、全国的にも各市町村が公共事業の仕事を障害福祉サービス事業所に委託していることが多い。今後、工賃の向上を図る一つの方法として、町と連携して委託事業が受けられるような事業展開ができればと考えている。

## 平成30年度 就労継続支援B型事業

### ぬくもり弁当（サンベーカリー・ケラピリカ）事業報告

#### 1.目的

法人の理念・各種法令を遵守した上で当事者の社会参加・自立を支援する。  
個々の能力や尊厳、個性や性格を尊重した支援を行う。

#### 2.方針

法人の理念に基づき、本人の能力に応じた支援を行う。

#### 3.事業内容（ケラピリカの事業もここに含み報告する）

- ・弁当製造販売（町内・南弟子屈・磯分内・標茶・町外他2時間圏内）
- ・パン製造販売（網走・清里・川湯・弟子屈・釧路）
- ・弟子屈カントリークラブレストラン事業（平成30年10月終了）
- ・委託業務事業として施設外就労支援事業（川湯の森病院掃除）
- ・イベント販売（道の駅・農協・観光祭り等の町内町外各種行事へ出店）
- ・販売事業（地場・道内・道外品の取扱い）
- ・当事者支援に関する業務全般（個別支援計画の作成関連事務など）
- ・年2回の避難防災訓練の実施
- ・消防設備点検の実施

#### 4.営業日及び営業時間

- ・営業日は、月曜日から金曜日（但し、祭日・お盆・年末年始は、休）  
※イベントにより祝祭日も営業
- ・開所時間は、午前8時45分から午後5時30分
- ・営業時間は、午前9時～午後16時

#### 5.利用定員

20名 令和元年現在 18名（元ぬくもり8名＋元ケラ5名＋新規5名）

#### 6.従業者の人数

- ・管理者 1名 ・サービス管理責任者 1名 ・生活支援員 3名
- ・職業支援員 4名 計9名

#### 7.年間売上目標に対しての結果

|    |        |              |    |             |
|----|--------|--------------|----|-------------|
| 目標 | パン製造販売 | 3,000,000 円  | 結果 | 3,740,000 円 |
|    | 弁当製造販売 | 10,000,000 円 |    | 9,430,000 円 |
|    | レストラン  | 5,000,000 円  |    | 3,950,000 円 |

|        |              |                     |
|--------|--------------|---------------------|
| 委託業務事業 | 2,040,000 円  | 1,440,000 円         |
| 販売事業   | 3,000,000 円  | 1,890,000 円         |
| 目標総計   | 23,040,000 円 | 年間総計結果 20,450,000 円 |

## 8.支援内容

- (1) 心配事や悩み等を話しやすい・聞きやすい環境の整備。
- (2) 作業への意欲を高める支援を行う。
- (3) みんなが協力しながら作業に取り組めるような雰囲気・環境の整備。
- (4) 一人一人の障害特性、疾病を理解した上で尊重する。
- (5) 互いに協力し合えるように支援する。

## 9.各事業の重点目標と結果報告

- ・チャンスロス、食材ロスの改善、店舗PRの充実を図る（レストラン）  
⇒平成30年10月契約終了となる。
- ・（パン）利用者の状態に合わせた負担の少ない作業へ工夫する。  
⇒シホンケーキ、バナナケーキの開発販売開始～新作の開発。
- ・（弁当）売上を維持しつつ利用者のモチベーションを保つ工夫を行う。  
⇒堅持にて売上向上への取り組みが効を奏した。
- ・（掃除）お客様に満足いただける内容にし、利用者へも配慮する。  
⇒効率化が大きく図れる、利用者の動きもよく作業域拡大が望まれる。
- ・商品の開発及び販売可能地域の拡充にて結果をだすこと（販売部門）  
⇒販売部門は、平成31年4月に、てつなぎ工房へ統合となる。

## 10.事業共通課題と結果報告

- ・利用者の健康状態や精神状況に配慮しつつ結果を出す為の支援を行う
  - ・顧客情報の徹底した管理を行い、お客様の負担にならないように配慮する。
  - ・地域の特性を生かした商品開発を行い、更なる収益性の向上を目指す。
  - ・利用者一人一人が、集中して作業に取り組める工夫を行う。
  - ・一人一人の人生目標を叶える支援を行う。
  - ・各種研修会や勉強会に参加し、職員一人一人の質の向上を行う。
- ⇒利用者個々の状況や状態により、配慮を心掛け、事業統合に向けた取り組みが不安視される中で一定程度の効果をあげて、不安の低減が行えたと評価できる。  
統合により新規利用者の獲得に繋がり、更なる事業及び利用者支援の多様化により、事業収入の拡大が見込まれる来年度に繋がったと考える。  
今後は委託事業などの拡大を目指し、収益構造の多様化及び強化を行っての、利用者工賃の向上が急務である。  
職員各位の質の向上を目指し、支援の充実が成された年となった。

## -平成 30 年度 てつなぎ工房 事業報告

作成者：藤本 憲

### ■運営方針

事業所は、法の基本理念と関係法令及び通知に基づき、利用者に必要な援助及び訓練を行うことにより、将来健全な社会生活が営むことができるように支援することを目的とする。

### ■理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、障がい者が地域社会から隔離されることのない「完全参加と平等」を目標に掲げ、誰もが幸せな人生が送れるよう努める。

### ■職員構成

| 利用者数        |      | 利用者定員 |
|-------------|------|-------|
| ・就労継続支援 B 型 | 24 名 | 20 名  |

※平成 31 年 3 月 31 日現在

### ■事業内容

|       |            |         |
|-------|------------|---------|
| 椎茸課   | 職員 2 名     | 利用者 8 名 |
| 便利屋   | 職員 2 名（兼務） | 利用者 7 名 |
| 内職・食物 | 職員 2 名（兼務） | 利用者 6 名 |
| 販売部   | 職員 2 名（兼務） | 利用者 2 名 |
| 石けん課  | 職員 1 名     | 利用者 1 名 |

事業内容詳細報告については別紙参照。

### ■問題点・今後の課題

10 年来携わっていた前施設長が現状 3 月で退職された事による損失は大きく今までの様な「形」での事業展開は難しく長年培ったものが出来なくなると思われる。しかし、その現状に甘んじる事無く、その中で利用者様主体となる環境整備と利用者、職員間で一極集中にならないように一貫した支援体制を組めるようにする事が急務と考える。（個別支援に対しての職員の統一意識を持つ事）

また事業所として「椎茸」「便利屋」の二本柱の方向性を再度検討の上、決して自分たちの利益だけを迫った事業体ではなく地域社会でのニーズに沿った形として展開し、弟子屈町民に選ばれ弟子屈町に根を張れる事業体を目指す事。

事業所完結ではなく、利用者が本来もつべき可能性を広げ、収益事業だけではなく、前施設長が行っていたバンド活動の様な地域共生型の取り組みを可能な段階でまた復活させていきたい。

## 平成30年度 石鹼課事業報告

作成者: 藤本 憲

### ■販売実績(直販、外販)

|     | 移動販売、通販 | 道の駅売上  | 合計     |
|-----|---------|--------|--------|
| 4月  | 17,130  | 756    | 17,886 |
| 5月  | 2,460   | 1,682  | 4,142  |
| 6月  | 7,850   | 4,513  | 12,363 |
| 7月  | 2,260   | 2,554  | 4,814  |
| 8月  | 3,640   | 2,011  | 5,651  |
| 9月  | 2,880   | 1,060  | 3,940  |
| 10月 | 4,080   | 1,496  | 5,576  |
| 11月 | 3,870   | 1,450  | 5,320  |
| 12月 | 6,570   | 395    | 6,965  |
| 1月  | 8,822   | 1,192  | 10,014 |
| 2月  | 2,450   | 1,762  | 4,212  |
| 3月  | 2,590   | 685    | 3,275  |
| 合計  | 64,602  | 19,556 | 84,158 |

### ■良かった点

製品レベルは高い。

### ■問題点

利用者の携わる作業が少ない事。

### ■改善点、今後の課題

・製造段階での失敗はほぼなくなり、品質も安定していたが、石けんを担当する利用者の

「仕事」となる部分が少なくフラストレーションがとても溜まる状態が続いていた。今後の課

題としては一時的に品質は低下するものの利用者主体となる段階にシフトしていき作業課

としての意味合いをつけていく。

# 平成30年度 てつなぎ工房椎茸課事業報告

作成者:丸田 幸男・藤本 憲

## ■売上

| 収 入 |           |         |         |         |         |         |           |
|-----|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
|     | フクハラ      | Aコープ    | 道の駅     | 直販      | 外販販売    | 豊洲(築地)  | 月合計       |
| 4月  | 444,450   | 68500   | 70975   | 78,525  | 65,850  | 15,552  | 743,852   |
| 5月  | 522,800   | 53575   | 64133   | 59,652  | 60,100  | 15,552  | 775,812   |
| 6月  | 461,140   | 51850   | 95574   | 94,574  | 78,500  | 15,552  | 797,190   |
| 7月  | 405,280   | 60600   | 84296   | 78,676  | 47,340  | 19,440  | 695,632   |
| 8月  | 301,370   | 65450   | 82688   | 127,902 | 40,990  | 15,552  | 633,952   |
| 9月  | 139,370   | 78430   | 85645   | 35,770  | 56,810  | 0       | 396,025   |
| 10月 | 275,020   | 69480   | 69341   | 64,150  | 63,300  | 7,776   | 549,067   |
| 11月 | 393,490   | 80835   | 76010   | 52,790  | 38,990  | 15,552  | 657,667   |
| 12月 | 422,130   | 79875   | 50924   | 152,230 | 47,580  | 11,664  | 764,403   |
| 1月  | 669,050   | 97475   | 33243   | 83,170  | 50,370  | 0       | 933,308   |
| 2月  | 338,330   | 66325   | 40638   | 83,140  | 58,680  | 15,552  | 602,665   |
| 3月  | 437,865   | 67775   | 54101   | 71,166  | 29,200  | 15,552  | 675,659   |
| 合計  | 4,810,295 | 840,170 | 807,568 | 981,745 | 637,710 | 147,744 | 8,225,232 |

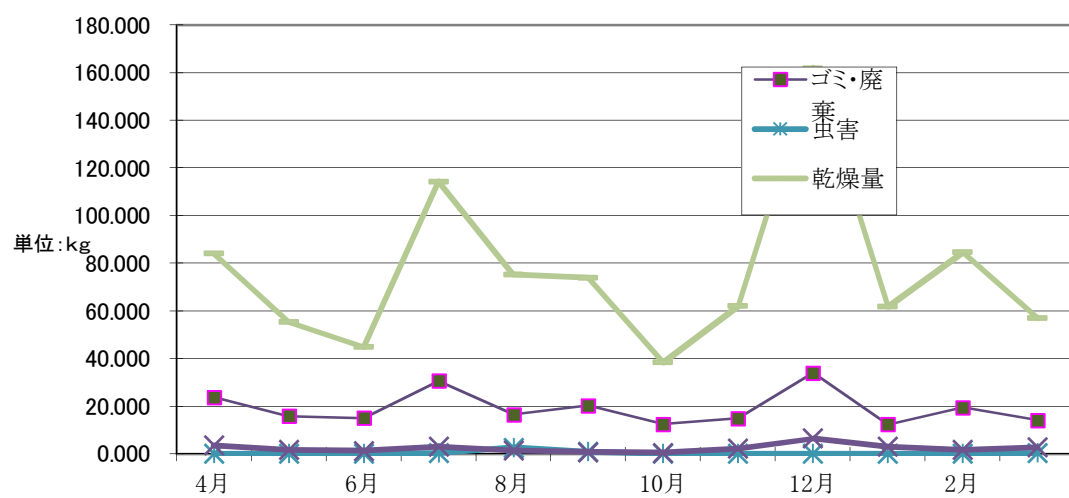
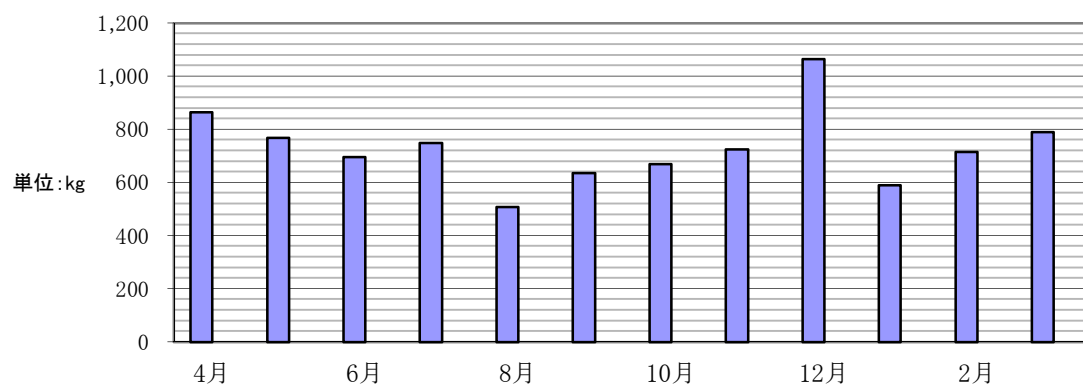
年間売上 ¥8,225,232

## ■年間データ(平成30年度)

単位:kg

|     | 収穫量      | ゴミ・廃棄   | 虫害    | 乾燥量     | 石突き    | 製品量      | 製品割合(%) |
|-----|----------|---------|-------|---------|--------|----------|---------|
| 4月  | 863.790  | 23.770  | 0.110 | 84.120  | 3.520  | 839.910  | 97.24%  |
| 5月  | 767.200  | 15.960  | 0.060 | 55.450  | 1.670  | 751.180  | 97.91%  |
| 6月  | 696.990  | 15.050  | 0.070 | 44.890  | 1.200  | 681.870  | 97.83%  |
| 7月  | 748.750  | 30.620  | 0.340 | 114.480 | 2.960  | 717.790  | 95.87%  |
| 8月  | 507.090  | 16.560  | 2.550 | 75.350  | 1.370  | 487.980  | 96.23%  |
| 9月  | 635.220  | 20.360  | 0.800 | 73.900  | 0.690  | 614.060  | 96.67%  |
| 10月 | 670.110  | 12.540  | 0.040 | 38.500  | 0.460  | 657.530  | 98.12%  |
| 11月 | 724.420  | 14.960  | 0.020 | 62.130  | 2.130  | 709.440  | 97.93%  |
| 12月 | 1065.010 | 34.010  | 0.000 | 161.950 | 6.550  | 1031.000 | 96.81%  |
| 1月  | 589.360  | 12.370  | 0.000 | 61.920  | 2.970  | 576.990  | 97.90%  |
| 2月  | 716.130  | 19.550  | 0.040 | 84.700  | 1.600  | 696.540  | 97.26%  |
| 3月  | 790.230  | 14.150  | 0.250 | 57.070  | 2.730  | 775.830  | 98.18%  |
| 合計  | 8774.300 | 229.900 | 4.280 | 914.460 | 27.850 | 8540.120 | 97.33%  |

## 平成30年度 年間収穫量



## ■反省、改善点、今後の課題

・北海道きのこ品評会では、最優秀賞である「林野庁長官賞」を受賞するという快挙を果たした。日々、利用者の方々が一生懸命仕事に取り組んでいる成果がこのように評価され、利用者職員ともども大変喜ばしいことであった。

これからも「安心・安全で美味しい椎茸」を栽培していきたい。

・平成30年度も夏は短期集中型で暑い日が数日あり、連日最高気温が30度を超える日が続き、突発的な高温という異常気象が続いている。これだけの暑さが続くと、しいたけにとっては致命傷的なダメージを受け、収穫量が大幅に影響してしまう。

また、A品のしいたけを生産するために、ひとつの菌床から発生する芽数を減らしたことにより(芽欠き)、これも収穫量に影響をしている。

今回は、天井にスプリンクラー方式の散水装置を設置し、夏場の熱い時期に活躍した。

日々のちょっとした気象の変化(日光、気温、風など)に対応するためには、利用者、職員間の連携をさらに深め、決して他人任せにすることの無いよう、一人ひとりが相手の事を気遣い、そして冷静な目で周囲を見ることが重要である。困ったときや手伝ってほしいときは、仲間に気軽に声をかけることができ、仕事がスムーズに進むようお互いの信頼関係が築ける支援が必要である。

・椎茸ハウスや、温泉暖房は今年10年目を迎えるにあたり随所に劣化が激しく機能低下が危ぶまれる消耗品でもあるが、再設備投資はなるべく控えられる様に進めていきたいが、必要に迫られる投資をせざる得ないものが出ている現状である。

また、冬期間においての温泉が湯量低下によりほぼ止まってしまった状態が3ヵ月ほど続き灯油暖房の消費がかさむ現状となっていた。

## 平成30年度 食物・内職課事業報告

作成者: 藤本 憲

### ■販売品目

内職課・・・手すきはがき、こずえはがき、こずえカレンダー、手芸品  
食物課・・・クッキー、イベント販売品(たこ焼き、焼きそば、餃子など)

### ■年間販売実績(直販、外販、イベント等) (直販、外販)

|     | 移動販売・イベントなど道の駅売 |        | 合計      |
|-----|-----------------|--------|---------|
| 4月  | 7,750           | 4,279  | 12,029  |
| 5月  | 5,150           | 7,339  | 12,489  |
| 6月  | 24,120          | 4,253  | 28,373  |
| 7月  | 229,100         | 3,560  | 232,660 |
| 8月  | 5,550           | 9,786  | 15,336  |
| 9月  | 89,830          | 5,743  | 95,573  |
| 10月 | 87,662          | 2,335  | 89,997  |
| 11月 | 37,300          | 5,393  | 42,693  |
| 12月 | 67,720          | 3,326  | 71,046  |
| 1月  | 22,128          | 332    | 22,460  |
| 2月  | 14,700          | 1,486  | 16,186  |
| 3月  | 4,900           | 2,296  | 7,196   |
| 合計  | 595,910         | 50,128 | 646,038 |

### ■良かった点

6月から1月まで町内外での販売会・イベントに力を入れて収入を増やせた事。

### ■問題点

大量の在庫(手すきハガキ用の牛乳パック、手芸品)がある為、販売戦略を考えなくてはならない。

日々同じ作業で利用者にとってはわかりやすいが、販売に苦戦している手芸品の在庫がどんどん増えていっている。個々の能力もあり、利用者ができる作業が限られてしまっているの、新しいことへシフトするには時間を要する。

### ■改善点、今後の課題

- ・手芸品は、デザイン性の問題もあるので、一つのデザインにとらわれず、様々な商品に展開していけるよう、工夫したい。
- ・新商品のクッキーの試作がまだ完了していないので、早急に取り掛かり、商品化を進める。
- ・商品を製造したら、あとは販売課に任せっきりになってしまっているの、自分達でも販売努力が必要である。
- ・比較的障害の程度が重い方が食物・内職課に在籍している。高度な作業は難しいが、その中でも作業を分担し、ヒット商品が誕生するよう皆でアイデアを出し合い、これらが結果となって利用者の工賃に反映できるよう力を入れていきたい。
- ・収益を目指す事が難しい課である為、今後は就労という視点を変えた方向転換も視野に入れる必要があると思われる。

# 平成30年度 販売課事業報告

作成者: 藤本 憲

## ■活動内容

- ・移動販売を弟子屈町内および標茶町にて実施
- ・道の駅摩周温泉への商品の納入と在庫管理
- ・年末の〆縄予約販売
- ・各種イベントでの出店販売

■ 担当利用者人数 … 2名

## ■作業内容

| 日               | 月                   | 火             | 水               | 木               | 金                   | 土               |
|-----------------|---------------------|---------------|-----------------|-----------------|---------------------|-----------------|
| 休み<br>(イベント時出店) | ・在庫管理<br>・集計<br>・準備 | 移動販売日<br>(町内) | 移動販売日<br>(川湯方面) | 移動販売日<br>(標茶方面) | ・営業活動<br>・集計<br>・準備 | 休み<br>(イベント時出店) |

- ・毎週火、水、木曜日に移動販売を実施。水曜日は、ぬくもり弁当の配達も兼務している。
- ・販売準備(商品発注、POP作成、訪問販売先検討、ロールプレイなど)
- ・売上の計算、釣り銭の準備
- ・各作業科への売上報告
- ・道の駅の在庫確認と納品

## ■販売品目

販売課・・・パン(ケラピリカ)、佃煮、醤油、味噌

風牧場のヨーグルト、〆縄

椎茸課・・・生椎茸、乾椎茸各種

食物課・・・クッキー、宝永の餃子、野菜

内職課・・・手すきはがき、こずえはがき、こずえカレンダー、手芸品

便利屋・・・固形石けん、粉石けん、プリン石けん

## ■販売数量

(直販、外販)

|     | 移動販売      | 道の駅売上   | 合計        |
|-----|-----------|---------|-----------|
| 4月  | 159,438   | 8,262   | 167,700   |
| 5月  | 154,244   | 13,244  | 167,488   |
| 6月  | 150,860   | 29,957  | 180,817   |
| 7月  | 179,646   | 19,974  | 199,620   |
| 8月  | 157,767   | 27,736  | 185,503   |
| 9月  | 129,231   | 24,902  | 154,133   |
| 10月 | 188,073   | 20,309  | 208,382   |
| 11月 | 184,619   | 28,160  | 212,779   |
| 12月 | 304,204   | 21,776  | 325,980   |
| 1月  | 144,545   | 5,180   | 149,725   |
| 2月  | 180,033   | 7,365   | 187,398   |
| 3月  | 114,232   | 5,750   | 119,982   |
| 合計  | 2,046,892 | 212,615 | 2,259,507 |

| 商品仕入合計(年間) | 販売売上(年間)   | 純利益収入    |
|------------|------------|----------|
| ¥1,657,608 | ¥2,259,507 | ¥601,899 |

#### ■良かった点、問題点

道の駅では「醤油・味噌・乾燥しいたけ・佃煮」等、日持ちし、持ち帰る事が簡単なものが比較的売れる様になっており、定期的な商品補充や小まめな在庫管理が利用者さん主体となつて行われ、各自責任を持って行われていた。高いレベルで利用者主体管理の意識がある為か、賞味期限が近いものについての職員側からの追求が強い場面があり今後の問題解消の必要事項と考える。パン・ヨーグルトなどの期限が近いものは優先順位をつけて販売されていた。利用者さんが2名で販売課をまわしていたが、お互いの連携がうまくとれなかった前半と後半ではお互いの担当されている仕事を「体験」する事によってフォローし合う関係性ができて来たかと思われる。

#### ■今後の課題

・ケラピリカとの合併により新しい形の販売になっていく中で、今までのノウハウを土台にどこまで売上向上を目指していけるか、時間の制約がある中で単純に2倍の商品数を扱うことになる為、利用者・職員のストレスが大きく結果の振れ幅も大きいので難しい商品や結果が出にくい商品・利益効率が悪い商品の選別が必要になってくる。販路や販売方法も同様に形を変える事も視野に入れた事業展開が必要かと考える。また、次年度は売上向上の為、週のほとんどの日を販売に充てる為、利用者のストレスを上手く緩和する必要がある。

# 平成30年度 便利屋事業報告

作成者: 三浦 通

例年通りの作業量であり、ここ数年の雪の少なさが影響しており、除雪の依頼件数は極端に減っている。一般貨物自動車運送事業の許可を取得したことにより、ゴミ処分の一回家当たりの単価が変わったので、それが収入増加の大きな要因となっている。

## ■今年度の主な作業について

定 期 ～古紙回収、事業系一般廃棄物処理(介護施設、薬局、娯楽施設、道の駅など)

不定期～一般廃棄物処理、草刈り、除雪、荷物運搬、清掃など

## ■古紙回収について

毎週火曜日は古紙回収の日と決まっており、それがお客様にも定着しているので、安定した回収量がある。

お客様が不在時は、玄関に古紙が置いてあっても勝手に持っていくことはせず、不在票を投函して、お客様から連絡があった場合のみ回収を行っている。

|                |     |
|----------------|-----|
| 第1週(中央、泉、朝日)   | 48  |
| 第2週(中央、湯の島)    | 38  |
| 第3週(高栄、美里)     | 54  |
| 第4週(摩周、鈴蘭、奥春別) | 35  |
| 月末(川湯、南弟子屈)    | 39  |
| 合 計            | 214 |

## ■始業と終業のミーティングについて

毎日必ず作業開始前と作業終了後にはミーティングを欠かさず行っている。一日の作業の流れを把握してもらい、作業のポイントや注意点を話し、ケガ防止の注意喚起を促している。

作業終了後には、良かった点や改善点の報告、また、ケガの有無の確認も忘れずに行っている。毎日利用者が日直を交代で行い、一人ひとり責任をもって取り組むことにより、責任感や達成感を得ることができ、皆いきいきとしている。しかし、ミーティング時だけの日直となりがちなので、班長と職員と連携を図ることにより、より一層作業がスムーズに進行することができるよう進めていきたい。

## ■問題点

動ける利用者さんが減ってきている事。利用者さん同士の連携がとれていない事。

## ■改善点、課題

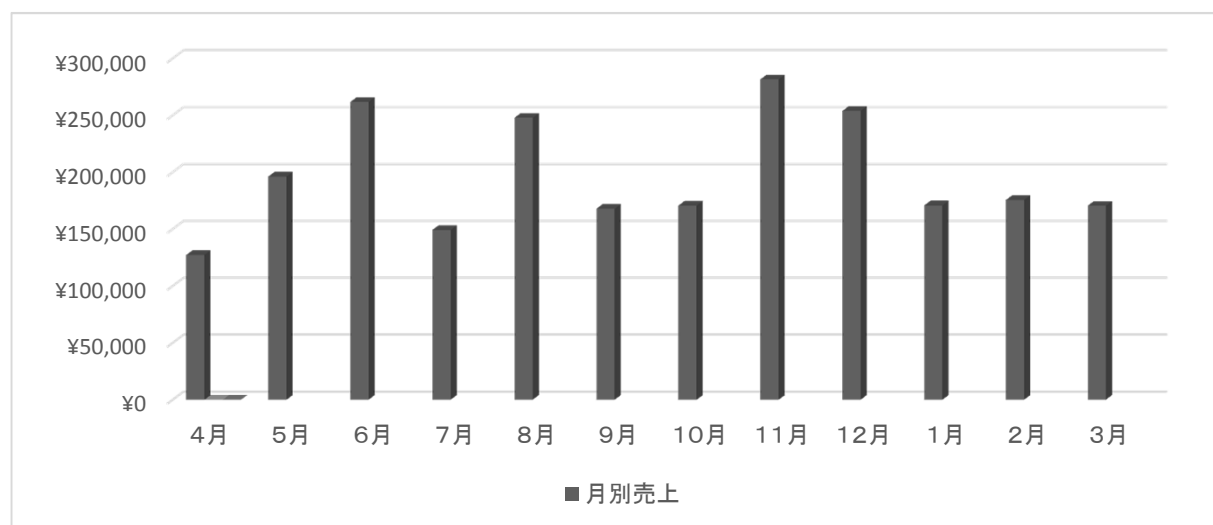
利用者一人ひとりの意識や仕事に対する姿勢を改革するべく、定期的に安全講習会、研修会を行う。ケガ等の注意喚起はもちろんのこと、各作業に応じた手順やポイントや仕事する意味等を時間をかけて利用者に伝えていく。そして、利用者と職員が連携をして仕事を効率よく進めるためにも親睦を図っていきたい。

## ■月別作業一覧

|     | ゴミ処分 | 草刈り | 荷物運搬 | 清掃 | 除雪 | 古紙販売(マテック) | その他 |
|-----|------|-----|------|----|----|------------|-----|
| 4月  | 8    | 0   | 1    | 0  | 0  | 2          | 0   |
| 5月  | 8    | 0   | 1    | 0  | 0  | 2          | 5   |
| 6月  | 11   | 6   | 1    | 0  | 0  | 2          | 2   |
| 7月  | 9    | 4   | 1    | 0  | 0  | 3          | 0   |
| 8月  | 4    | 3   | 1    | 0  | 0  | 3          | 3   |
| 9月  | 9    | 3   | 3    | 0  | 0  | 0          | 0   |
| 10月 | 9    | 1   | 0    | 0  | 0  | 1          | 1   |
| 11月 | 5    | 0   | 1    | 0  | 0  | 2          | 3   |
| 12月 | 15   | 0   | 1    | 1  | 2  | 2          | 4   |
| 1月  | 9    | 0   | 1    | 1  | 0  | 3          | 1   |
| 2月  | 7    | 0   | 1    | 1  | 1  | 3          | 1   |
| 3月  | 12   | 0   | 0    | 0  | 4  | 3          | 0   |
| 計   | 106  | 17  | 12   | 3  | 7  | 26         | 20  |

## ■月別売上

|     |            |
|-----|------------|
| 4月  | ¥127,292   |
| 5月  | ¥196,220   |
| 6月  | ¥261,812   |
| 7月  | ¥149,246   |
| 8月  | ¥247,802   |
| 9月  | ¥167,894   |
| 10月 | ¥170,710   |
| 11月 | ¥281,604   |
| 12月 | ¥253,892   |
| 1月  | ¥170,802   |
| 2月  | ¥175,622   |
| 3月  | ¥170,574   |
| 合計  | ¥2,373,470 |



## GHてつなぎ荘事業 平成30年度事業報告

### 1:運営状況

- \* 給付対象事業 平成31年 3月末日現在
- : 指定共同生活援助事業
  - てつなぎ荘 定員7名 満室
  - てつなぎ抱夢 定員5名 満室
  - ほんわかホーム 定員5名 満室
  - 泉ほ一む 定員2名 満室
- : 指定短期入所事業(てつなぎ荘にて実施)定員1名  
稼働率 80%
- \* 給付対象外事業
- : 一時預かり事業 定員1名 随時対応  
事前予約にて随時対応
- : 有料ショートステイ事業  
支給決定外の方を対象に運営  
事前予約にて随時対応  
利用料:1日2000円+3食900円

### 2:サービス体制

- \* 住居毎の職員状況及び配置時間
  - : 常勤換算法において、世話人3.2名 生活支援員 1.8名以上を配置している。
  - : 宿直及び夜勤時の夜間支援体制時間(22時～4時)
  - : 勤務時間は基本8時間45分(9時間もあり)

てつなぎ荘 宿直応援職員数名(他事業所職員 1名)  
: 宿直(17:45～9:00)・日直(9:00～17:45、祝祭日及び土日)

泉ほ一む (てつなぎ荘配置職員により管理)  
: 巡回時間 9時、14時(休日のみ)、18時、22時

てつなぎ抱夢  
: 荘宿直者が対応、9時、14時(休日のみ)、18時、22時に巡回を行う。

ほんわかホーム  
: 日勤(9:00～17:45)  
: 早出(7:15～16:00)  
: 遅出(12:15～20:00)  
: 夜勤(15:15～0:00～9:00)

\* 食事提供体制 (平日の夕食)・土日＝宿日直対応職員が担う。  
生活支援員が主に対応する。

\* 短期入所支援体制  
てつなぎ荘併設のため、荘配置職員(荘対応時間共有)にて対応する。

### 3:共通業務

- : 個別支援計画作成と交付(説明と確認印及び署名)
- : 生活支援全般(相談対応、助言、残存機能活用援助など)
- : 施設維持管理
- : 防災訓練(年間2回以上の実施)設備点検の対応(年間1回以上)
- : 記録整備、管理事務全般
- : 館内清掃(共有部及び建物外周)
- : 朝夕食提供及び土日の朝昼夕食提供
- : 個別支援計画に基づく細かい支援を行う
- : 利用者の余暇支援(個別及び全員対象などより細かい支援を目指す)
- : 利用者の受診送迎及び付添(医師の説明ホロー及び聞き取り援助)
- : 各町内会の行事に参加(神社祭、自治会総会など)

#### 4: 重点課題

##### \* 各種関係法令の理解及び運営に適應させる

・道東地域、札幌近郊にて行われている研修会に参加した。  
来年施行される受動喫煙防止法の先取りで、てつなぎ荘並びほんわかホームの施設内全面禁煙を平成31年1月1日～取り組み始める。  
今後も参加できる各種研修会に積極的に参加して、情報を共有することで利用者並び保護者が安心出来る様、スキルアップしていく。

##### \* サービスの質の向上

: 支援内容を検証し、当事者の要望に細目に対応する。  
: 利用者個々の要望に対して、細かく対応出来ている。  
主に、通院・受診の付添送迎(釧路優心、釧路市立HP等)  
余暇付添(散歩、買物支援、各種行事の参加等)  
利用者個々への質の高い支援の為、今後も対応を継続する。

##### \* 防災設備の拡充

: 昨年設定した防災計画を周知徹底させつつ充実させる。  
地震、火災、風水害等の自然災害に対しての防災計画を昨年設定した。  
その中で、昨年胆振東部地震による大規模停電が発生した。  
大きく取り乱す事は無かったが、普段と比べるとソワソワしている利用者も居た。  
実際に災害が起こった際に利用者がどんな反応をするのかを見る事が出来たのは、とても大きな収穫であった。  
今後もいつ起こるか分からない自然災害への対策を周知徹底する必要がある。  
避難訓練や防災訓練の実施が重要になっていくと実感した。

: 災害時の対応のため防災対応備蓄の整備。  
防災セットを各グループホームに入居者並び職員分配置している。  
昨年起きた胆振東部地震による停電の際は防災セットを活用した。  
その中で、防災備蓄の重要性を改めて確認する事が出来た。  
突発的な災害時の備蓄として、今後も継続して整備する必要がある。

##### \* 収益性の向上を図る

: 飲料水の自動販売機の設置及び管理  
: 生活雑貨の販売、クリーニング代行など  
収支改善の策として有効かどうかを調査している状態である。  
自販機については、利用者が近隣の自販機で飲料水を購入しているので、グループホームにもあれば、利益になるのではと思う。  
今後も引き続き、前向きに調査を継続する必要がある。

##### : 利用料の改正

この一年、様々な案を検討しているが、現状として改正出来ていない。  
理由の一つとして、利用料を上げる事によって入居者の日常生活に影響が出てしまう事である。  
利用者の経済状態が悪化する懸念がある。  
しかし、食材の高騰等、グループホームとしても利用料の改正が収支改善の大きな軸である事は変わらない事実である。  
入居者の負担にならない値上げの実施は今後もグループホームの課題となってくる。  
次年度に持ち越すが金額を考慮し収支構造の改善を図りたい。

##### \* 長年の検案だった有料老人ホームについて

厚生労働省の見解が改正され、ほんわかホームはそれに当たらないことが確定。  
助成金の関係があり手がつけられない状況であったが完全解消に至る。  
今後は共生対応の部屋を入居可能な居室に変更し定員の1名増員を図る。